資料➁

**分科(散)会名を記載**

**印旛支部**

**〇〇市立〇〇小分会**

**○　○　○　○**

**○　○　○　○**

**７**

25×25㎜

15×

15㎜

**男女行動参画社会をめざして**

**～互いを認め合い　支え合って働くために～**

**第73次千葉県教育研究集会**

**第14分科会　両性の自立と平等の教育**

**14**

**１．主題設定の理由**

　人々が働くことを楽しみ、生き生きと生活できる社会とは、ワークライフバランスのとれた社会である。家事分担の偏りや長時間労働の見直し等、それぞれの立場を考え誰もが働きやすい社会をめざすため、次世代を担う子どもたちに、皆で支え合って働くことの大切さを学ばせたいと考え、本主題を設定した。

**項目だては**

**主題設定の理由・目的・仮説・内容結論・まとめ等を**

**ベースとして考え、研究の流れがつかめれば、**

**適宜変更しても良い。**

**２．研究の仮説**

〇家族の一員としての役割についての授業を行うことで、子どもたちが家族で助け合い、協力することの大切さに気づくであろう。

〇男女共同参画社会の仕事や働き方についての授業を行うことで、男女が支え合い生き生きと働く社会のあり方に気づくであろう。

**３．研究内容（授業実践）**

〇小学校　低学年　「だれのしごとかな」

ねらい　家族が助け合って家の仕事をする大切さに気づく。

**実践の内容がわかるように、**

**詳しく記入する。**

　家庭の仕事に焦点をあて、どんな仕事があるか、だれが主にしているのか、視覚に訴えやすくするためにカードを使って掲示した。

　子どもたちは、家庭の仕事が考えていた以上にたくさんあることを知り驚いていた。また、カードの数で視覚化され、母親が多くの仕事をしていることが具体的に感じていた。仕事カードを分類する活動では、楽しんでとりくむことができた。

**高さ２cmの**正方形

または長方形

**上段＝提案者の名前**

**下段＝共同提案者の名前**

2.5㎝

2.5㎝

(分科会番号)

〇小学校　中学年　「女の人の仕事、男の人の仕事ってあるのかな？」

**一辺２cmの**

**正方形**

(支部番号)

ねらい　職業は性別に関係なく自由に選択してよいことに気づく。

　子どもたちにとって身近なよく知っている職業を、思い込みで性別に分けていることに気づくことができた。話し合いや資料を見ることで、考え方が変わり仕事は自分がやりたいことをやればよいと理解していた。学習を通して男女に関係なく職業に就けることに気づき、お互いに助け合うことが大切という意見が出された。

**イラストや図、ワークシート等を**

**載せる場合は、著作権に気をつける。**

**〇小学校　高学年**

**「ともに働くよさを考えよう」**

ねらい　職業は性差に関係なく自由に選択してよいことを知り、ともに働くよさに気づく。

　同じ職業の男女の写真を並べて掲示することで、子どもたちが職業に性別が関係ないことを自然に受け入れていた。

**４．結論**

・学年の発達段階に合わせた活動案を作成し、や職業の授業実践を行ったことにより、性別に関係なく職業選択をしてよいことや、家庭でも職場でもともに働くことにより、互いに理解し合い、支え合うことの大切さを考えることができた。

・話し合いの場面で「上司だったら」「仲間だったら」「自分（パートナー）だったら」どうするかという様々な立場から意見を出し合い、多様な考え方が共有された。

**支部名と分会名を記載する**

**印旛支部**

**〇〇市立〇〇小分会**

**○　○　○　○**

**○　○　○　○**

**７**

**主　題**

**～副　題～**

**第73次千葉県教育研究集会**

**第○分科会　○分○科○会○名○**

**26-1**

**１．主題設定の理由**

※読んだら消して下さい。

本文以外のテキストボックスはすべて主題の下にアンカーで固定してあります。

本文以外はテキストのみを打ち換えれば位置や大きさを調整する必要はありません。

本文は「1．」から書き始め下さい。（初めの2行にオブジェクトを固定してあるので触らないでください）

本文の文字は10～10.5pt　行間は12pt～1行の範囲内で適宜調整していただいて結構です。

**２．研究の仮説**

**３．研究内容（授業実践）**

**４．結論**